

上

舞鶴鎮守府司令長官佐藤鐵太郎

0888

大正八年十月ヨリ本年十月ニ至ル間ニ於ケル

管下狀況ノ概要ヲ具シ謹ミテ

叡覽ニ供シ奉ル

大正九年十月 日

舞鶴鎮守府司令長官海軍中將從四位勲三等功三級佐藤鐵太郎

0889

舞鶴鎮守府管下狀況概要

一、出師準備

出師準備ハ本年度帝國海軍戰時編制ニ基キ調査
計畫シ總テ整頓ス

二、防備及警備

防備計畫ハ完備ス

軍港及本府管區沿岸、警備ハ驅逐隊及艇隊ヲ以テ
之ニ當ラシメアリ

本期間ニ於テ特別任務ニ服シタル麾下警備艦ノ行動
左ノ如シ

- (一) 三笠及見島ハ居留民保護ノ爲本年二月露領樺太
方面ニ行動四月第三艦隊ニ轉屬ニテ新任任務ニ服セリ
- (二) 春日ハ米國メーン州合衆國加入百年祭典ニ參列

為本年五月横須賀軍港ヲ發シ巴那馬運河ヲ
經テ同州ポートランド港ニ回航同十月任務ヲ終
歸朝セリ

(三) 新高ハ居留民保護ノ為本年七月堪察加方面ニ行
動同十月石見ニ任務引繼ヲ了シ舞鶴軍港ニ
歸還セリ

三、艦船

所管現在、艦船ハ軍艦十三隻、驅逐艦十一隻、水雷艇
四隻、特設運送船一隻ニシテ本期間増加シタルモノハ横
須賀鎮守府ヨリ轉籍ニ依ル驅逐艦磯風、濱風、天
津風、時津風及徴傭ニ依ル特設運送船第二養老
丸ナリ
在役艦船ハ數次、任務並編制變更ヲ經現時安藝

四、兵員

香取第三艦隊ハ第一艦隊ニ筑摩ハ第二艦隊ニ三笠ハ第三艦隊ニ日進ハ第二遣外艦隊ニ屬シ各其ノ役務ニ服シ第三艦隊第十艇隊ハ管區沿岸警備ノ任務ニ第ニ養老丸ハ北樺太方面臨時特設部隊用軍需品輸送ノ任務ニ服シツツアリ爾餘ノ諸艦ハ豫備艦ニシテ本軍港ニ在リ目下就役準備若ハ修理中ニ屬シ其ノ大部ハ戰鬪航海ニ支障ナシ

所管兵員ハ現役一萬一千三百十一人豫備役三千二百二人後備役二千八人合計一萬六千五百二十一ニシテ戰時

充員ニ支障ナシ

本期間新ニ現役ニ入りタル者二千五百十六人ニシテ豫備役後備役編入免役及死七等ノ為現役ヲ離レタル者

一千三百十三人ナリ

志願兵徵募ノ狀況ハ志願人員二千二百七十六人中合格者一千五百人ニシテ内所要人員一千百五十八人ヲ選抜採用セリ

簡閱點呼ハ管下全部ニ亘リ施行セリ在郷下士官

兵ノ健康狀態ハ佳良ニシテ士氣旺盛ナリ

五、軍紀風紀

軍紀風紀ハ一般ニ嚴正ナリ

本期間中軍人軍屬ノ處刑者四十五人ナリ

六、教育訓練

教育訓練ハ適良ニ實施セラレ其ノ成績ハ良好ナリ

七、演習

本年三月及十月麾下各部隊ヲ聯合シテ基本演習

0893

ヲ施行シ共ニ良好ノ効果ヲ收メタリ

八、檢閲

恒例檢閲ハ四月開始シ十月終了セリ其ノ成績ハ別ニ
奏上ス

九、醫務衛生

醫務衛生ノ狀況ハ良好ニシテ本期間患者ノ實數四
千五百十三人其ノ内傳染病患者十一人傷痍疾病ニ因
ル免役者百八十七人死亡者八十人アリ之ヲ昨年ニ比シ
死亡者數ノ稍増加セルハ客冬以來ノ流行性感冒ニ起
因セリ

十、艦船兵器ノ製造及修理

本期間製造竣工セル主ナル艦船ハ驅逐艦峯風沖風
及雜役船四隻ニシテ目下艦裝中ノモノハ驅逐艦島風

灘風、汐風建造中ノモノハ驅逐艦大、刀風及雜役船一隻又
 製造準備中ノモノハ驅逐艦帆風、野風、沼風、波風及雜
 役船一隻ナリ
 製造セル主ナル兵器ハ砲架五十臺、發射管六基、魚雷五
 個、魚雷頭部六百二十三個、機雷七百五十四個、探照燈
 十五基ニテ製造中ノモノハ砲架五十五臺、發射管二十
 五基、魚雷二千五百個、魚雷頭部二千三百十個、機雷三千
 六十八個、探照燈三十二基、發動機二基ナリ
 修理改造ヲ施シタルモノハ船體機關ノ部六千三百九件
 兵器ノ部一萬一千八百件ナリ
 入渠シタル艦船ハ軍艦十二隻、驅逐艦十七隻、水雷艇
 四隻、特務艦一隻及特務艇雜役船等二十三隻ナリ
 土木建築

0895

本期間新營増設等ノ主ナル諸工事中竣工セシモノハ
病院傳染病室及病室、工廠第二製罐場、軍港第一
上陸場等ニミテ目下工事中ノモノハ軍港水道ノ増築
工廠カソリン庫、火藥庫、經理部被服庫及防備隊
移轉工事等ナリ而シテ海兵團講堂及兵舎、工廠第
二鑄鐵場新營、工廠青銅鑄物場及水雷工場増
築等ハ設計中ニ屬ス

其海軍望樓及海軍無線電信所

海軍望樓及海軍無線電信所ハ完備シ各能ク監視
警戒及通信ノ任務ニ服シ居レリ

其會計經理

會計經理ハ一般ニ整頓シ其ノ成績ハ良好ナリ
之ヲ要スルニ管下ノ狀況ハ一般ニ良好ナリ尚上下心ヲ一ニシ

益奮勵努力一層良好ノ成績ヲ與テケムトヲ期ス

終

0897

奏上覽書

謹ミテ舞鶴鎮守府管下狀況ノ概要ヲ奏上致シ

マス

一 鎮守府ノ出師準備及防備計畫ハ整頓致シテ居リ

マス

二 軍港及管區沿岸ノ警備ハ驅逐隊艇隊ヲミテ之當

ラシメテ居リマス

三 所管艦船ノ現状ハ良好テ御座リマス

本期間麾下警備艦トシテ特別任務ニ服シマシ

タル軍艦三隻及見島ハ本年二月ヨリ四月ニ亘リ

居留民保護ノ為露領樺太方面ニ行動シ又春日

ハ米國メーン州合衆國加入百年祭典ニ參列

ノ為五月同地ニ回航新高ハ居留民保護ノ為

七月堪察加方面ニ行動シ何レモ其ノ任務ヲ終ヘ
 最近歸朝致シマシタ
 其ノ他、艦船モ大部分ハ本期間役務ニ服シ
 マシテ御座リマス
 目下麾下艦船ハ軍艦八隻驅逐艦八隻水雷
 艇四隻特設運送船一隻テ御座リマシテ大部
 ハ就役準備若ハ修理ニ從事致シテ居リマス
 四、兵員ハ現役一萬一千三百十一人豫備役三千二百
 二人後備役二千八百八人合計一萬六千五百三十一人
 テ御座リマス
 志願兵徵募及簡閱點呼ノ成績ハ良好テ御
 座リマシタ
 五、軍紀風紀ハ一般ニ嚴正テ御座リマス

六、教育訓練ハ熱心ニ實施致シテ居リマシテ其ノ成績ハ良好テ御座リマス
 七、演習ハ本年三月ト十月ニ基本演習ヲ施行致シマシテ何レモ良好ノ効果ヲ收メマシタ
 八、本年度恒例檢閲ハ全部結了致シマシテ其ノ成績ハ一般ニ良好テ御座リマス
 九、衛生ノ狀況ハ良好テ御座リマス
 十、艦船兵器ノ製造修理及土木建築工事ハ既定計畫ニ依リ夫々進捗致シテ居リマス
 右ハ狀況ノ概要テ御座リマシテ詳細ハ別冊ニ認メテ御座リマス

大正八年十一月ヨリ大正九年十月ニ至ル
間ニ於ケル管下ノ狀況ヲ具シ謹ミテ
叡覽ニ供シ奉ル

大正九年

鎮海要港部司令官海軍中將從禮勳二等功四級千坂智次郎

鎮海要港部管下狀況概要

一、防備及警備

鎮海要港部警備區内ノ防備計畫ハ大正九年
度海軍戰時編制竝同實施規程ニ基キ之ヲ策
定シテ其ノ實施ノ方法ヲ攻究調査セシメ機
ニ臨ミ實行ニ遺憾ナカラシムコトヲ期ス
警備區内ノ警備ニ關シテハ麾下第二十九驅
逐隊及第十五艇隊ヲシテ其ノ任務ニ服セシ
メツツアリ

二、艦船

麾下所屬第二十九驅逐隊第十五艇隊ノ各艦
艇ハ既ニ老齡ニ達シタレトモ銳意其ノ戰鬥
力ノ保全ニ努メ支障ナク任務ヲ遂行シツツ

三、兵員

麾下ノ平時定員ハ六百七十六名ニシテ昨年
ニ比シ八十三名ヲ増加シ目下概克實ス

四、軍紀風紀

軍紀風紀ハ良好ニシテ服務ハ一般ニ精勵ナ

五、教育訓練

教育訓練ノ成果ハ年ト共ニ進歩ノ狀況ニ在
リ本年度ノ教育作業ハ全部完了シ其ノ成績
良好ナリ

六、演習

前後二回ノ基本演習ニ於テ當要港部防備計

畫ノ一部並麾下各部隊ノ任務ニ應スル各種ノ作業ヲ實施シ攻究練磨シ得タルトコ口數カラス

七、檢閲

麾下各部隊恒例檢閲ノ成績ハ良好ナリ尚益部下ヲ督勵シ一層優良ナル成績ヲ擧ケンコトヲ期ス

八、醫務衛生

醫務ハ整頓シ衛生ノ狀況ハ良好ナリ本年一月以降傳染病ノ發生ナク患者率モ亦昨年ニ比シ著シク減少セリ

九、艦船兵器ノ修理

修理工場ハ二百七十名内外ノ職工ヲ使役シ

0905

麾下艦船兵器ノ修理ヲ遺憾ナク施行シ尚餘
力ヲ以テ各海軍工廠竝朝鮮總督府ノ委託工
事ニ應シタルモノ少ナカラス

十、土木建築工事

鎮海軍港ノ第一期設備ハ今ヤ計畫ノ約九割
五分ヲ竣工シ尚著著工事ヲ進メツツアリ

0906

上

0907

大正八年十一月ヨリ本年十月ニ至ル間ニ
於ケル管下狀況ノ概要ヲ具シ謹ミテ
獻覽ニ供シ奉ル

大正九年十月三十日

横須賀鎮守府司令長官海軍大將從三位勳一等留級山屋他人

横須賀鎮守府管下狀況概要

一出師準備

大正九年度帝國海軍戰時編制及同實
施規程ニ基ツク本府所管出師準備計畫
ハ概ネ整頓セリ

二防備及敬言備

本府管内防備地點タル東京灣横須賀軍
港及父島ノ防備計畫中常設スヘキ防備ハ

0910

概不完成シ戰時特設スヘキ防備部隊ノ
諸準備亦概不整頓セリ

管區内海岸海面ハ麾下艦船望樓及無
線電信所ヲシテ警戒監視ニ任セシム

三 艦船

大正八年十一月以降驅逐艦陽炎朧曙江風
谷風及第十三潜水艦ハ吳鎮守府ニ驅逐艦
天津風磯風濱風時津風ハ舞鶴鎮守府ニ轉
籍又驅逐艦春風初雪時雨初春及第十四第

十五第十六第十七潜水艦ハ吳鎮守府ヨリ
本府ニ轉籍セシメラレ新造艦船中軍艦長門
北上驅逐艦澤風島風灘風矢風羽風汐風及
第二十五第三十八第三十九潜水艦ノ本籍ヲ
本府ト定メラル現在本府在籍ノ艦艇ハ戰
艦長門山城朝日巡洋戰艦金剛榛名生駒巡
洋艦八雲天龍北上海防艦富士橋立滿州武
藏航空母艦若宮敷設艦津輕勝力砲艦
千早ノ大小十七隻驅逐艦三十三隻潜水艦

八隻水雷艇四隻特務艦六隻ニシテ數次ノ役務竝編制變更ヲ經現時榛名天龍千早外驅逐艦十二隻特務艦一隻ハ各艦隊ニ編入セラレ勝力ハ敬言備艦松江ハ測量艦トシテ臨時南洋群島防備隊ニ附屬セシメラル

尚驅逐艦四隻ハ大湊要港部ニ附屬シ其ノ他ノ艦船ハ麾下ニ在リテ生駒朝日富士津輕第六驅逐隊及驅逐艦浦風

薄雲不知火竝第二艇隊ハ練習ノ役務
ニ第八驅逐隊第一潜水隊及第二潜水
隊ハ横須賀防備隊ニ附屬シテ敬言備兼
練習ノ役務ニ又若宮ハ横須賀海軍航
空隊ニ第二十五潜水艦ハ横須賀防備
隊ニ附屬シテ敬言備ノ役務ニ服シ特務
艦關東ハ堪察加方面特別任務ニ劍埼
洲崎高崎ハ輸送任務ニ服シ爾餘ノ艦
ハ豫備艦籍ニ在リテ特定修理中ナル

滿州及武藏ノ外船體機關兵器ハ概ネ
整備シ戦闘航海ニ支障ナシ

當航空隊ニ於ケル各種航空機ハ漸次
充實ノ域ニアルモ目下二十五臺ヲ現有ス
ルニ過キス尚搭載諸兵器ニ至リテハ救正
備ノ運ヒニ至ラス從テ實地機上作業ノ
練磨ハ未タ充分ナル程度ニ達セサルヲ
遺憾トス

四 兵員

所管兵員ハ現役二萬四百四十八人豫備
役五千九百四十七人後備役三千五百八十
八人計二萬九千九百八十三人ニシテ本年
度本府戰時要員ニ對シ七百二十六人ノ
不足ナリ

本年度管區内海軍志願兵ハ實業界
好況ノ影響ヲ受ケ志願者著シク減
少シ遂ニ或兵種ニ在リテハ所定ノ人員
ヲ得ル能ハサルモノアリシハ遺憾ナリ

本年度簡閱點呼及召集事務檢閱
ハ所管内全部實施シタルニ召集準備
一般ニ整頓シ在郷軍人ノ思想穩健ニ
シテ召集實施上支障ナク成績概不良
好ナリ

五 軍紀風紀

軍紀軍紀ハ嚴正ニシテ一般ニ思想穩健
服務ノ狀況良好ナリ

六 教育訓練

各基本長ヲ督勵シテ艦團隊教育規則
ニ據リ銳意士氣ノ振作術力ノ練磨ニ
努メシメ又隨時麾下將校將校相當官
ニ特命シテ聯合教育ノ指導ニ任セシ
ムル等啓發ノ途ヲ講シ上下共ニ熱心
事ニ從ヒ一般ニ進歩ノ狀況ニ在リ本
年度通信檢定砲員檢定發射檢定
敷設檢定掃海檢定ノ成績ハ概不良好
ナリ

當航空隊ニ於ケル操縦術航空機取扱法ニ就テハ本年四月口號甲型飛行機ヲ以テ實施セル横須賀吳佐世保間飛行成績ニ徴スルモ一般ニ進歩ノ跡大ナルモノアルヲ認ム

其ノ他練習艦富士ニ於テハ專ラ運用術ノ教育ニ努メツツアリ

七 演習

本年度本府基本演習ハ本年三月海

陸ニ於テ又十月海上ニ於テ之ヲ施行シ良
好ナル成績ヲ收ムルヲ得タリ

八 檢閲

麾下艦船部隊其ノ他各部ノ恆例檢
閲ハ大部終了シ其ノ成績ハ良好ナ
リ

九 醫務衛生

醫務ハ整頓シ衛生ノ狀況ハ良好ナリ
一。艦船兵器ノ製造及修理

横須賀海軍工廠ニ於テ昨年十一月以降
 建造ヲ終リタル艦船ハ軍艦天龍驅逐
 艦樞樞雜役船十三隻製造中ノモ
 ノ戰艦陸奥航空母艦鳳翔潜水艦二
 隻特務艇一隻雜役船五隻又ニシテ陸
 奥ハ大正十年^十五月竣工ノ豫定ナリ又
 計畫中ノモノハ巡洋戰艦天城潜水艦
 二隻雜役船五隻ナリ製造中ノ主ナ
 ル兵器ハ四十五口徑三年式四十一糧砲塔

五十三種魚形水雷以下各種砲架魚形水雷發射管機雷無線電信機水路計器飛行機機體同發動機等ナリ

一土木建築

八八艦隊完成ニ要スル軍港設備竝工廠及諸學校設備ノ擴張ハ目下夫々進捗中ニ在リ主要工事中需品庫重油タンク増設潜水艦船臺築造港務部移築大湊要港部重油タンク新

設、臨時南洋群島防備隊司令部廳舎、
臨時海軍防備隊設備ハ既ニ竣工シ、
軍港水道ハ殆ニト完成、防波堤築造、
第二船臺延長ハ大正十年三月航空
隊敷地擴張ハ大正十一年三月第五船
渠延長ハ大正十二年三月竣工ノ豫定
ナリ

一三會計經理

會計經理ノ狀況ハ良好ナリ

之ヲ要スルニ本期間ニ於ケル管下ノ
狀況ハ一般ニ良好ニシテ諸事進歩發
達ノ狀況ニ在リ尚倍々奮勵シ軍紀ノ
振肅兵備ノ整頓ニ努メ一層良好ノ成
績ヲ擧ケケシコトヲ期ス

(終)

大正八年十月ヨリ本年十月ニ至ハ間ニ於ケル
管下狀況ノ概要ヲ具シ謹ミテ
叙覽ニ供シ奉ル
大正九年十月三十日

臨時南洋羣島防備隊司令官海軍少將五郎野崎

0926

臨時南洋群島防備隊管下狀況概要

一、軍紀風紀

軍紀風紀ハ一般ニ嚴肅ナリ

二、教育訓練

教育訓練ハ土地ノ狀況ト氣候トヲ酌量シ適當ニ行ハレツ、アリ

三、警備

従前ノ如ク六箇所ニ守備隊ヲ配置シ各管区内ノ警戒防備ニ任セシメ又附屬艦船ヲエテ各地海面ノ巡航警備ニ當ラシム管下ノ狀況極メテ平靜ナリ目下ハラオ島ニ司令部廳舎其他ヲ建設中ナリ

四、艦船

昨年十月以降本隊附屬警備艦船左ノ如シ

軍艦最上

軍艦淀

軍艦勝力

特務艦 松江

五、運輸通信

内地群島間及群島内ノ運輸交通ハ日本郵船會

社所屬船二隻ニ依リ内地及東西主要地ニ交

互約六十日間ニ壹回ノ交通ヲ爲ス

通信ハ特設無線電信所及ヤツブヨリ内地ニ通ス

ル水底電線並ニ軍用郵便所相俟テ確實ナル

連絡ヲ保持シツアリ

六、醫務衛生

醫務ハ整頓シ衛生ハ各地及附屬艦船ヲ通シ良好ニシテ在来ノ地方病ハ衛生ノ普及ト共ニ漸次消滅シツ、アリ

七、會計經理

會計經理ハ良好ナリ交通不便ナルト群島開發日尙淺キ爲生糧品ノ供給未ク充分ナラサルモ之ガ補給ニ關シテハ歲ト共ニ改善シツ、アリ

八、民政

(1) 行政

民政職責ノ充實ニ伴ヒ諸般ノ施設漸次進捗シ島民ニハ努メラ慈惠治療ヲ施シ昨年十月以降本年三月ニ至ル受療患者延數十二萬八千九百四十二名ニ達シ民心ノ歸嚮極

メテ良好ニシテ親倚ノ状頗々顯著ナリ

(ロ) 學子事

島民好學ノ風成ト共ニ増進シ今ヤ島民學校ノ數十八就學兒童ノ數千九百九十四名ヲ算シ尚増加ノ勢アリ近時邦人ノ子弟頗々増加シタルヲ以テ昨年九月南洋群島ヨリ常小學校ニ校ヲ開設シ邦人兒童教育上遺憾ナカラシメムコトヲ期ス

(ハ) 産業

産業ハ漸次勃興シツ、アリ其ノ重ナルモノハ

商業 雜貨 ココアラ アイボリーナット

等ノ貿易賣買

農業 椰子樹、甘蔗、綿、烟草

等ノ栽培

工業

砂糖、煙草等ノ製造

漁業

高瀬貝、真珠貝、玳瑁等ノ養

殖採捕

等ニシテ各々發展ノ途ニ在リ

アンガウル島ノ磷礦ハ官ニ於テ之ヲ經營採掘

シ民間ニ拂下ヲ爲シツ、アリ

(二) 戸口

群島在留邦人ノ數逐年増加シ本年三月末ニ於テ軍人ヲ除キタル内地人二千百二十八名朝鮮人二百八十名ニ達シ其他歐米人十七名支那人十七名在島シ群島島民ハ四萬六千九百九十四名ヲ算セリ

(ホ) 財政

財政状態ハ年々順調ナル進展ヲ示シ本年
度ノ歳入歳出豫算ハ各々三十一萬八千八
百餘圓ヲ計上セリ

群島占領以來茲ニ六星霜諸般ノ施設歳ト共ニ
進捗シ百官其ノ職ニ勵ミ民心愈々靜穩ナリ
皇化遠シ南洋ノ絶島ニ普シ生民齊シシ
聖徳ノ宏大無窮ヲ仰シ臣等感激ノ至リニ堪ヘ
ズ益々奮勵努力以テ 聖恩ニ報ヒ奉ラムコト
ヲ期ス

上

大慶要港部司令官 布目満造

0934

大正八年十一月ヨリ本年十月ニ至ル間ニ於ケル管下ノ

狀況ヲ具シ謹ミテ

上又 覽ニ供シ奉ル

大正九年 月 日

大漢要港部司令官海軍少將正五位勲二等功四級布目滿造

0936

大湊要港部管下状況、概要

一、防備及敬言備

大湊要港部防備計畫及戰時準備作業計畫は、大正九年帝國海軍戰時編制及同實施規程ニ基キ策定シ防禦地點ハ津輕海峽及大湊要港、室蘭港並宗谷海峽ニシテ其整備ハ若キ後五十九日以内ニ完成ス

當部所屬宗谷望樓ハ本年十月十五其全電孤式無線電信機ヲ裝備セシ北樺太並堪察加方面ト内地間ノ通信聯絡ヲ確保シ得ルニ至レリ而シテ戰時編制實施ニ當リテ警備一區内諸方面ニ多數ノ特設望樓ヲ設置セラル

警備区内ノ警備ニ關シテハ主トシテ麾下駆逐隊ヲシテ其任務ニ服セシム本年ハ五月初旬ヨリ約一ヶ月間彌生ノ風ニ艦ヲ露領沿海州ニ續テ六月ヨリ九月迄ノ間ハ於テ第九駆逐隊ヲ千島列島及堪察加方面ニ派遣セシメテシタリ

二、艦艇

麾下所屬艦艇、第九驅逐隊及敷設艇、葦埼其、他雜役船數度ニシテ
各艦艇、船俵兵器機関、一般ニ完備セリ

敷設艇葦埼、本年五月第三艦隊ニ臨時附屬セシメラレ露領沿海州ニ於テ
航路標識、設置、パルチザン、沈置セシ機雷處分及沈置船除去等、特
別任務ニ従事シ本年八月歸還シ再ヒ當部ニ復歸セシメラレタリ

三、人員

麾下各隊ニ於ケル准士官以上並兵員ハ定員約八百名ニシテ戰時編制ヲ實現
施セラルトキハ約二千五百名ニ達ス而シテ該兵員ハ平戰時共ニ横須賀鎮
守村在籍者ヲ以テ配員ス、目下各部隊共平時定員充實見セリ

四、軍紀風紀

麾下一般ニ涉リ軍紀風紀ハ嚴正ニシテ服務ノ狀況モ亦忠實勤勉ナリ

五、教育訓練

麾下各基本部隊ニ於ケル教育訓練ハ規定ニ遵ヒ銳意之ヲ實施シ、各

各級當事者亦精勵事、當其成績、逐年向上發展、各種戰技、
成績モ亦良好ナリ

六、演習

大正九年度ニ於ケル基本演習ハ本年五月及十月麾下各部隊ヲ聯合シ
陸奥海灣内ニ於テ施行シ實戰ニ須要ナル各種ノ訓練並諸般ノ任務
ニ應スヘキ研究ヲ為シ甚カラスル効果ヲ收メ得タリ

七、檢閲

麾下各部隊ノ恒例檢閲ハ本年十月初旬施行シ其ノ成績ハ何レモ良
好ナリ

八、醫務衛生

醫務ハ整頓シ衛生ノ狀況ハ良好ニテ傳染病ノ發生ナラ麾下軍人
軍屬ノ健康上毫モ顧慮スヘキモノ無シ

九、艦船兵器修理

0940

當要港部修理工場、諸設備、茲工事、狀況逐年發達、新・諸
機械器具類ヲ増設シ、艦船兵器ノ般修理部内ノ受託工事並入渠
艦船修理等。從事シツワリ而シテ目下重油運搬船軍艦陸奥艦載汽
艇等建造中ナリ

職工、多數ハ地方出身者ニテ其ノ性質温良、工場維持上何等不安
點ナク伎倆ニ亦逐年進歩シツワリ

十、諸營造物及港内ノ狀況

當要港部營造物ノ狀況、年々擴大整備シツワリ、重油槽一個

並同附屬機關、本年四月竣成シ新廳舎、目下建設準備中ニ屬ス

又港内ノ浚渫ハ昨年度ヨリ引續キ作業中ニテ著々進捗シツワリ

之ヲ要スルニ管下ノ狀況一般ニ良好ニテ各員熱心軍務ニ精勵シツワリ

尚ホ益々部下ノ督勵ニ軍事能力ノ増進ニ努メ以テ時勢ノ進運ニ順

應セシコトヲ期ス